

体育・スポーツ教育研究

第13巻 第1号

(九州の大学体育・スポーツ 第38号)

教育研究論文

- 原著論文
 - 水泳・水中運動の恩恵と負担は行動変容段階によって質的に異なるのか？—前熟考期にある大学生を対象とした意思決定バランスの分析—
[西田 順一]
- 実践研究
 - 心理社会的効果を意図する目標設定およびセルフモニタリングを用いた障害者スポーツ実習—社会的スキルとメンタルヘルスに着目して—
[内田 若希 ほか]
 - スキー実習におけるソーシャルサポート介入によるライフスキルの向上
[磯貝 浩久 ほか]

今日の体育・スポーツ

- 大学体育における教育研究のこれまでとこれから
[柿原 浩晃]

大学体育・スポーツの動向

- 大学体育の必修化について思うこと
[大浦 隆陽]
- 崇城大学における体育実技授業が必修となった経緯と現状
[崇城大学総合教育健康・スポーツ部]

平成23年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議

- 「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」プログラム
- 招待講演
台湾の体育・スポーツ—日本と世界の影響—
[Frank J. M. Lu, Ph.D.]
- シンポジウム
 - これからの大学体育のあり方を探る
[磯貝 浩久 ほか]
 - 日常生活に活かす大学体育講義
[飯干 明]
 - 体力も向上させる大学体育実習での取り組み
[角南 良幸]
 - 演習授業の一例と課題
[杉山 佳生]
- 研究発表
 - 大学体育における知識・能力の形成(11)—卒業時における学士力と教養体育の関連—
[柿原 一貴 ほか]
 - 体育授業によって醸成される学士力と大学生活の充実度との関係—学士力関連スキルと充実度との重回帰分析から—
[中山 正剛 ほか]
 - 中国女子大学生を対象とした新しい体育授業プログラムの効果～健康度・生活習慣と社会的スキルに着目して～
[王 雪蓮 ほか]
 - 大学体育におけるスロージョギングの導入が女子大学生の体力に及ぼす影響
[鍵村 昌範 ほか]
 - 大学生の水泳・水中運動における意思決定バランスおよび主観的環境が行動意図に及ぼす影響
[西田 順一]
 - 「運動の楽しさ感覚」と日常における身体活動量の因果関係
[田原 亮二 ほか]
 - 大学運動部所属学生の「社会性」に関する基礎的検討—「社会性」の測定可否に言及する—
[内倉 康二 ほか]
 - スポーツチームにおけるチームパフォーマンス予測モデル
[河津 慶太]
- 特別講義
 - 大学体育を考える
[橋本 公雄]

体育・スポーツ関連情報

- 海外だより—カンボジアに「体育」が誕生した—
[中島 憲子]
- 大学めぐり
 - 保健医療経営大学
[藤原 大樹]
 - 熊本学園大学
[宮林 達也]

九州地区大学体育連合

平成23年度

「体育・スポーツ教育研究」寄稿規定

2001. 3. 9 制定

2008.10.11 改正

1. 本誌への投稿は、原則として九州地区大学体育連合加盟大学に在籍している者に限る。また、編集委員会が必要と認めた場合には、寄稿を依頼することがある。
2. 投稿内容は、大学における体育・スポーツ・健康の教育研究に関する、総説・原著論文・実践研究・事例報告・研究資料などとし、和文で完結したものに限る。
3. 原稿の掲載可否および掲載の時期は、編集委員会において決定する。
4. 掲載された原稿は、原則として返却しない。
5. 原稿は、原則としてワードプロセッサで作成するものとし、A4判横書き、全角40字20行とする。手書きの場合は400字詰横書き原稿用紙を用いる。本文はひらがな現代かなづかいとし、外国語をかな書きにする場合は、カタカナにする。
6. 原稿は、原則として1篇につき、図表、抄録等を含めて刷り上がり10ページ以内（およそ400字詰原稿用紙で30枚、ワードプロセッサ使用の場合は15枚）とする。
7. 原稿の表紙には、題目・著者名・所属機関を和文と英文で明記する。また、表紙の右下に、総説・原著論文・資料論文・実践研究・事例報告の別と、3語ないし5語のキーワードを明記する。
8. 提出する原稿は、電子ファイル（PDF、またはWord）とする。
9. 挿図原稿は、図中の文字や数字が直接印刷できるように、きれいにはっきりと書く。写真は鮮明な画面のものとする。
10. 図や表には、それぞれに必ず通し番号とタイトルをつけ、1枚ずつ台紙が原稿用紙に貼り、本文とは別に番号順に一括する。図表の挿入箇所は、本文原稿の欄外に、赤でそれぞれの番号によって指示する。
11. 引用文献は、本文の最後に著者名のABC順に一括し、雑誌の場合には、著者・題目・雑誌名・巻号・ページ・西暦年号の順とし、単行本の場合には、著者・書名・版数・発行所・西暦年号・ページの順に記載する。
12. 掲載原稿の費用は投稿者負担とする（1p ¥2,000）。但し、所定部数の別刷りを寄贈する。なお、本連合より研究助成を受けた者の掲載原稿費用は事務局が負担する。但し、別刷りは有料とする。
13. 原稿は、九州地区大学体育連合事務局に送付する。

「九州の大学体育・スポーツ」編集規定

1. 九州地区大学体育連合理事会内に編集委員会を設ける。
2. 編集委員は若干名とし、九州地区大学体育連合会長が委嘱する。
3. 編集委員会は、投稿原稿の採択および掲載の時期を決定する。
4. 投稿原稿の校正は、初校のみ投稿者が行い、以後は編集委員会の責任とする。
5. 掲載内容の決定および変更については、編集委員会で決定する。

編 集 委 員 会

橋本 公雄 中野 裕史 原 巖 則元 志郎 玉江 和義

* 本誌は第一回九州地区大学保健体育研修会報告書（昭和50年）を第1号として、「九州の大学体育・スポーツ（第25号）」を引き継ぐものであり、通巻第38号となるものである。